

I 実践

1 本校の人権教育の目標

○人権尊重の精神を養い、民主的な人間関係を育成する。

小学部：誰とでも仲良くする生活態度を育成する。

中学部・高等部：誰に対しても公正公平に振る舞う生活態度を育成する。

2 実践及び成果

(1) 児童・生徒への取り組み

ア 小学部での取り組み

まず教師との信頼関係を築き、学校生活に慣れ、学級や周りの友達と関わる体験を広げていくことをねらいとしている。教科・領域を合わせた日常生活の指導や生活単元学習を中心として、あいさつや他者への意識、思いやりの心を育てるようにしてきた。

校内では、常に朝のあいさつを教師が児童に働きかけることで、児童と教師、児童同士の間でのあいさつ活動を重視してきている。対外的な活動では、油縄子小学校との学校間交流、居住地校交流など、他の学校の同学年の友達と交流する機会を設けている。このことは、本校の児童にとって、他者と交流する機会を得、社会性を高める良い機会となった。特に、油縄子小学校との交流では、自己紹介やゲームを行うことで相手の理解を深め、お互いの関係をより深めることができた。その他、児童の興味・関心のある人形劇団「かくれんぼ」の鑑賞などで生活体験を増やすことができた。



油縄子小児童との交流



人形劇

イ 中学部での取り組み

文化祭（いちょう祭）のイベントは、「達人村のおもてなし」と銘打ち、6つの店を出した。この店は、総合的な学習の時間に交流している事業者の方（達人）から教えていただいた技を披露する場となった。そして、この交流が職場体験へと広がっていくなど、地域との交流が深まってきた。また、学校で育てた花のプランターを店舗や事業所の店先に飾ってもらう活動を継続して行っている。多賀中の文化祭で、本校の生徒が作業学習で作った製品の販売をしたり、多賀中の生徒との交流会を行ったりしている。本校の作業学習（本校では園芸や木工を中心とした土班・布製品作りの布班・エコたわしを作る匠班の3班がある。）には多賀中生徒が参加している。



多賀中生徒との交流会



店先のプランター



多賀中生徒との作業学習

ウ 高等部での取り組み

卒業後の進路や余暇活動など、よりよい社会的自立を目指し、作業学習を中心に、働くことの大切さや人と触れ合うことの尊さについて、学校生活全体をとおして学んでいる。

今年度もよかつぺ祭りに参加した。作業学習の時間に製作した作業製品の販売をとおして地域の人たちと触れ合うことのできるよい機会である。生徒たちは、よかつぺ通りを歩く人に一生懸命に声をかけ、自分たちの作業製品を販売することができた。自分たちの製品を地域の人に買ってもらうことで、買ってくれた方々に感謝するとともに、より良い製品作りへの意欲付けともなった。

また、今年度はいちょう祭の中で、喫茶サービスやクリスマスリース、メッセージカード作りなどを実施した。多くの人と交流することができ、相手に喜んでもらえることの楽しさを味わうことができた。



よかつぺ祭り

(2) 学校・教職員の取り組み

ア 学校公開

「わたしたちのまちの学校」として、市立の良さを生かし、良さを伸ばしていく取り組みと、「わたしたちのまちが学校」として、日立市内の教育資源を有効に活用する取り組みの中で外部の方々とのコミュニケーションと交流を継続して行い、相互理解を図ってきた

イ 保護者・支援機関との連携

保護者との個別面談（５月と２月）や夏休みの家庭訪問のほかに、必要に応じ家庭と連絡を取り合い、児童・生徒の実態や進路希望などについての共通理解を図ることで個に応じた指導に努めている。また、児童・生徒の関係する諸機関である医療機関や母子療育ホーム、児童相談所や子ども福祉課などと緊密な連携を図りつつ指導・支援を進めてきた。

また、経験の幅を広げるためにPTAや父親の会が主催する夏祭りや焼きそば会、キャンドルナイトに向けてのキャンドル作り、いちょう祭での県警音楽隊の虹のステージや稲村なおこコンサート、ALTとの交流など、様々な行事に参加してきた。

II 人権コーナーの設置

人権コーナーの名称を「ふれあいひろば」「おもいでひろば」として職員室前に設置している。今年度も、修学旅行や作業学習、校外学習、キャリアトレーニングなどいろいろな各学部の行事の写真を掲示した。学校を訪問した方々ばかりでなく児童生徒も関心をもって見ており、誰とでも仲よくする態度や誰に対しても公正公平に振る舞う態度を育成する上で効果的であった。



おもいでひろば

III 今後の課題

- (1) 各学部での交流及び共同学習は多くの人々との触れ合いができ、とても良い活動であった。そして経験したことがその後の活動への意欲につながった。今後も今までの交流や共同学習で積み重ねてきた経験をもとに児童・生徒の実態や交流の形態に応じた指導・支援について努めていきたい。
- (2) 今後も、地域や家庭、近隣校と連絡を取り合って協力・連携を進め、各種行事やイベントに参加することで、地域や家庭、近隣校との交流をさらに深めていきたい。
- (3) 今年度は人権教育研修会の日程がとれなかったもので、次年度は講師を迎え実施する予定である。